

ZANDEN Model 120 の展開(5) ーベーターヴェン全集を聴く(5)ー

1. 始めに

前報(4)に引き続き、ベーターヴェン全集を集中的に聴いていきます。

2. Model 120 設定条件の試聴方法

カートリッジは、My Sonic Signature Gold で、接続に関しては、ZANDEN Model 120 の活用(33)同様、下記のとおりとします。すなわち、アンバランス／バランス変換プラグを用いて BACU-2000 経由で Model120 にバランス入力し、アンプは Langivin 6V6pp を使用しています。

LINN LP-12→(フォノケーブル)→(アンバランス／バランス変換プラグ)→
(BACU-2000) →Model120(バランス入力端子→アンバランス出力端子)→(アン
バランス／バランス変換ケーブル)→P&G フェーダー(バランス入力端子→
バランス出力端子)→(位相反転ケーブル) →BACU-2000→(バランス／アン
バランス変換プラグ：2 番ホット) →(アンバランスケーブル)→Langivin
6V6pp

LINN LP-12 の再構成(22)で報告しましたように LP-12 の電源を交換し、外付けと
しています。

なお、クロスチェックの意味で、カートリッジは、ZYG R100-EX とし、接続に関し
ては、下記も使用します。すなわち、AACU-1000 経由で Model120 にアンバラン
ス入力しています。

Garrad401→(フォノケーブル) →(AACU-1000)→Model120(アンバランス入
力端子→アンバランス出力端子)→(アンバランス／バランス変換ケーブル)→
P&G フェーダー(バランス入力端子→バランス出力端子) →(位相反転ケー
ブル) →BACU-2000→(バランス／アンバランス変換プラグ：2 番ホット)
→(アンバランスケーブル)→Langivin 6V6pp

音源としては、今回から下記のベーターヴェンの協奏曲全集の盤を選んで聴いてい
きます。これらは、Y 氏から頂戴したものです。

今回は、協奏曲集で下記を聴きます。

ドイツグラモフォン MG9510 ベーターヴェン ピアノ協奏曲 1 番
ウイヘルム・ケンプ(pf)
フェルディナンド・ライトナー指揮ベルリンフィル
ドイツグラモフォン MG9511 ベーターヴェン ピアノ協奏曲 2 番

ウイルヘルム・ケンプ(pf)

フェルディナンド・ライトナー指揮ベルリンフィル



3. Model 120 設定条件の試聴結果

Model 120 の設定は、前報(1)と同じく、TELDEC の逆相、第 4 時定数は Mid で聴いていきます。

ピアノ協奏曲 1 番では、ライトナー指揮ベルリンフィルの手堅い演奏に乗ってケンプが、緩急、抑揚をつけて、ある時は抒情的に、ある時は鋭角的に切り込んでいき、平凡と思われるこの曲を聴き応えのある演奏で弾きこんでいます。

ピアノ協奏曲 2 番は短い曲ですが、モーツアルトでも聴いているかのような珠玉の曲で、ケンプが軽快に弾いていますので、ケンプのベートーヴェンの一面を見た思いです。

4. まとめ

ライトナー指揮のベルリンフィルの手堅い演奏に乗ってケンプが味わい深い演奏を聴かせてくれました。

以上